

平成29年 9月9日(土)～11月5日(日)

前期 9月9日(土)～10月4日(水)
後期 10月6日(金)～11月5日(日)

前期・後期で作品を一部入れ替えます。

平成29年度秋、佐野美術館では「虫尽くし展」を開催します。古くから虫を題材とした作品は多く生み出されてきました。日本では、虫を吉祥の徴として尊んだ中国の思想を取り入れ、そこに日本人特有の感性と合わせ、繊細で美しい作品を多く生み出しました。今展覧会では、前後期の展示替えを含む約110点の作品を展示しますが、その中でもじっくり見ていただきたい出品作品を2点ご紹介します。

《百足文朱漆蒔絵鞍》江戸時代初期(17世紀) 大阪城天守閣蔵【前期展示】



アートはいつだって
ムシであふれている

井上恒也
スケッチ 昆虫

井上恒也(一八九五～一九七九)は、富士市出身の日本画家です。鳥の絵を得意としましたが、生き物全般が好きで、昆虫も好んで画題にしました。蜻蛉や蝶など、好きだからこそ追究出来た、様々な角度からの細やかな描写は必見です。

特に注目は、スケッチは鉛筆ではなく細い筆を用い、墨で輪郭線が描かれていることです。そして岩絵の具を使い、日本画の手法で描かれています。是非、近くでじっくり見てみてください。



また、蒔絵の百足が、時代を重ねるうちに金がかがれ、下の黒漆が見えています。反対側の金色をよく残した百足と比べてみると面白いです。

百足文朱漆蒔絵鞍
朱漆に金蒔絵で百足が描かれた作品。百足は毘沙門天の象徴として武士に好まれた虫です。戦国武将の武田信玄は、毘沙門天が武神で戦勝の神とされることとあわせて、その使いの百足は一条乱れず果敢に素早く前に進み、決して後ろへ退かないなどとして、武具などに百足の図を用いたりしたといわれています。

この鞍の伝来は不明ですが、百足に縁起を担ぎ強さを託したのでしょう。



井上恒也《スケッチ 昆虫》(部分) 佐野美術館蔵【通期展示】

展覧会イベント
スライドレクチャー
「虫尽くし展の見どころ」
日時：9/16(土)、10/14(土) 14:00～14:40
講師：河内えり子(佐野美術館学芸グループ主任)
会場：佐野美術館講堂
聴講料：100円 ※申込不要

担当学芸員のギャラリートーク
日時：9/16(土)、10/14(土) 15:00～
会場：佐野美術館2階展示室 ※申込不要・聴講無料

ミュージッククラブ会員募集中

●正会員:1万円 ●ゴールド会員:2万円 ●特別会員:10万円

ミュージッククラブでは会員を随時募集しています。年間パスポートの発行やショップでの買物1割引、会員限定イベントの開催など様々な特典があります。詳しくはミュージッククラブ事務局(TEL055-975-7278)までお問合せください。

新規入会者(平成29年4月1日～)
ゴールド会員 大島善幸、花枝昇一
正会員 石井真人、石渡浩二、川名庸子、齊藤大助、重間和夫、杉江晴生、高野喜美子、塚田妙子、中村伸宏、成島明子、福士博光、藤吉智子、藤吉博章、丸山淑子、望月みゆき、吉高智子 ※敬称略、50音順

ミュージック交歓

佐野美術館と皆さまをつなぐ

運営委員長退任の挨拶

前運営委員長
亀山千鶴男



本年3月末の任期満了を機に、ミュージッククラブの運営委員長を退任させていただきました。平成9年に運営委員に任命され、平成17年から運営委員長を12年間務めさせていただきました。長い間ご支援をいただき有り難うございました。

顧みますと、運営委員長として最も思い出に残っていることは、就任早々に他の運営委員の協力をいただき、会員の増強を図るための施策として、ミュージッククラブの目的、事業、活動内容などを明確にした新たな会則を制定したことです。「佐野美術館の諸事業を賛助すること」を目的とし、「会員の交流を深めること」を主たる事業として、名称を「佐野美術館賛助会ミュージッククラブ」に改めて、クラブの運営を行ってまいりました。

以後、毎年多くの会員の皆さまのご参加をいただき「会員のつどい」「芸術鑑賞日帰りバス旅行」「十三夜の宴」等々の事業を実施するとともに、クラブの目的であります美術館への賛助金も毎年贈ることができました。これも会員の皆さまのご支援とご協力のお陰であることは勿論ですが、私自身にとりましても運営委員長としての職責を少しでも果たして退任できましたことは大変に有り難く、改めて会員の皆さまに心から感謝を申し上げます。

後任の小野徹運営委員長は、副運営委員長歴も長く、他の運営委員と一丸となって更なるミュージッククラブの充実のための運営をされることと思っております。引き続き会員の皆さまの絶大なご支援とご協力を私からもお願い申し上げます。

運営委員長就任の挨拶

新運営委員長
小野徹



今年4月から運営委員長に選任されました小野徹です。前任の亀山千鶴男委員長におかれましては、まだこうした賛助会システムなど考えられもなかった時代に、「佐野美術館賛助会ミュージッククラブ」の骨格づくりに奔走されるとともに、今日の基盤を造っていただきました。

運営委員を代表して、心より感謝申し上げます。さて、サビの効いたリーダーシップを発揮された前委員長とは、こちらがやや若いというだけで、美術に造詣があるわけではないし、現役の経営者で多忙で、しかも本業も楽ではない私が、こうしたお役目を仰せつかることになりました。

とてとても会員の皆さまのご期待に添えないとは存じますが、新米委員長としては、亀山前委員長の敷いてくれたレールに従い、

- ①美術館の諸事業を賛助する
 - ②ミュージッククラブ会員の交流・親睦を図る
- を大きな柱として、常に原点に立ち返りながら、
- ①いかに美術館を盛り立て、
 - ②会員の皆さまに楽しんでいただけるか、
 - ③そのための、運営委員の力を結集していくか、
- 微力を尽くしたいと存じますので、皆さまのお力添えをお願い申し上げます。



平成29年度下半期 **活動予定**

イベントスケジュール

平成29年度下半期に開催されるイベントをご紹介します。皆さまのご参加をお待ちしております。

EVENT
イベント
情報

じゅうさん や うたげ 十三夜の宴 (庭園コンサート)

日時：平成29年11月1日(水)
時間：17:00開場/17:30開宴
会費：会員3,000円
一般5,000円

定員：約100名(要申込・先着順)
会場：佐野美術館庭園「隆泉苑」
(雨天の場合は佐野美術館1階ロビー)

※会員のお連れ様であれば、一般の方もお申込みいただけます。

“月を愛でながら音楽を楽しむ”をテーマに、幅広いジャンルの音楽をお届けしている「十三夜の宴」。今年はネイティブアメリカンフルート奏者のMark Akixa(マーク アキクサ)氏を迎えます。ネイティブアメリカンフルートとは、その名の通りネイティブアメリカン(北米先住民)に伝わる木製の縦笛で、インディアンフルート、ラブフルートとも呼称されます。音色は優しく風のように心に染み入ります。

さらにサポートメンバーとして、ギターの太田光宏氏、パーカッションのよしうらけんじ氏を加え、エネルギッシュでありながら、自然との調和を感じる演奏をお届けします。

演奏後は、登録有形文化財「隆泉苑」の庭園で、パイキング形式での温かいお食事やお酒をご用意いたします。



出演：Mark Akixa (マーク アキクサ)
ネイティブアメリカンフルート奏者
サポートメンバー
太田光宏 ギター
よしうらけんじ パーカッション

館蔵品特別鑑賞講座 ～日本刀編～

日時：平成29年11月23日(木・祝)
時間：14:00～16:00
会費：1,000円(会員/一般)
定員：20名(要申込・先着順)
会場：佐野美術館庭園内「隆泉苑」

※会員のお連れ様であれば、一般の方もお申込みいただけます。

今年度の特別鑑賞講座は、毎回好評をいただいております日本刀編です。佐野美術館の主要コレクションである日本刀を、渡邊妙子館長の解説とともにご覧いただけます。日本刀鑑賞の基礎知識をはじめ、日本刀を通して、日本人の心の在り方を学びます。実際にお手に取って、美しい刀身をご堪能ください。



※各イベントの募集は開催日の約2ヶ月前から行います。
※会員の皆さまは随時お届けしておりますイベントチラシをご確認の上お申込みください。

イベントレポート(平成29年度上半期活動報告) **活動報告**

イベントレポート

平成29年度上半期は2つのイベントが開催されました。

佐野美術館賛助会ミュージッククラブ会報

ミュージック交歓

佐野美術館と皆さまをつなぐ

会員のつどい(総会)

日程：平成29年4月29日(土・祝)
時間：15:00～18:00
参加人数：51名

本年度の会員のつどいでは、昨年度まで、長年佐野美術館の運営のためにご尽力くださった亀山千鶴男運営委員長が退任され、後任に小野徹運営委員長が任命されました。昨年度の事業報告、そして新年度の事業計画を皆さまにご報告し、その後は懇親会となりました。

今回の懇親会では若手落語家の古今亭始さんが2席演じてくれました。笑いは脳を活性化し、今や病気の改善にもつながるとか…。参加された皆さまは、きっと身も心も若返ったのではないかと思います。

今まで参加されなかった会員の皆さま、来年はどうぞお出かけください。

(ミュージッククラブ運営委員 曾我一枝)



芸術鑑賞 日帰りバス旅行

日程：平成29年6月15日(木)
時間：7:30～19:30
参加人数：49名

天気を心配していましたが、当日は青空の広がる絶好の日和となりました。

バスは東名高速道路を快調に進み、最初の目的地、世田谷美術館に到着。同館はおおよそ39万平米という広大な砦公園の中にあり、見頃を迎えたアジサイや、新緑の樹々が美しい園内を散策することができました。館内では、アメリカの絵本作家 エリック・カール氏の原画展を開催中で、羽を広げ舞い上がるチョウや可愛い動物たちが、カラフルに描かれていました。世界中の子供たちに大人気の絵本の魅力を十分に堪能することができました。

午後は国立劇場で歌舞伎「毛抜」(出演者：中村錦之介、片岡孝太郎ほか)を鑑賞。始めに若手俳優による舞台の仕組みや演目の解説がありましたが、歌舞伎を理解し、面白さを実感できる有り難い企画だと思いました。美術館、公園、歌舞伎と、皆さまと一緒に一日楽しく過ごすことができ、大満足のバス旅行でした。

(ミュージッククラブ運営委員 野村晴香)

